

2024年4月25日
 京セラコミュニケーションシステム株式会社
 代表取締役社長 黒瀬 善仁

クボタが提供する営農支援システム「KSAS」のサービスに IoT ネットワーク Sigfox を採用

～農機に後付けできる低コスト・低消費電力の Sigfox デバイスで農作業の効率化を支援～

京セラコミュニケーションシステム株式会社（本社：京都市伏見区 代表取締役社長 黒瀬 善仁、以下 KCCS）は、株式会社クボタ（本社：大阪市浪速区、代表取締役社長 北尾 裕一、以下クボタ）が提供する営農支援システム「KSAS（ケーサス）」のサービスである「KSAS シンプルコネクト」に、IoT ネットワーク「Sigfox」^{※1}が採用されたことを発表します。



農機に Sigfox デバイスを後付け装着したイメージ

世界有数の農業機械メーカーであるクボタでは、国内農業における生産者の高齢化や人手不足などの課題解決策として期待されるスマート農業を推進すべく、営農支援システム「KSAS」を提供しています。KSAS は電子地図を用いた圃場管理や作業の記録、進捗状況などが見える化し、生産者の管理業務の負荷を軽減することができるシステムです。通信機器搭載のクボタ製の農業機械（農機）と連携することで作業記録の自動化などが可能になり、より便利に利用することができます。

クボタでは、さらなるサービス向上のために、KSAS 非対応の農機に位置情報を把握できる通信デバイスを後付けすることで、KSAS との連携や農機の一元管理を実現できないかと考え、複数の通信方式およびデバイスを用いて実証実験を実施しました。その結果、以下の3点を評価し、KCCS が提供する Sigfox ネットワークおよびデバイスを採用いただきました。

（1）充実したデバイスラインナップ

ラインナップからクボタが実現したいサービスに合ったデバイスを選択できたため、開発コストや期間をかけず、迅速に実証試験を実施できたこと

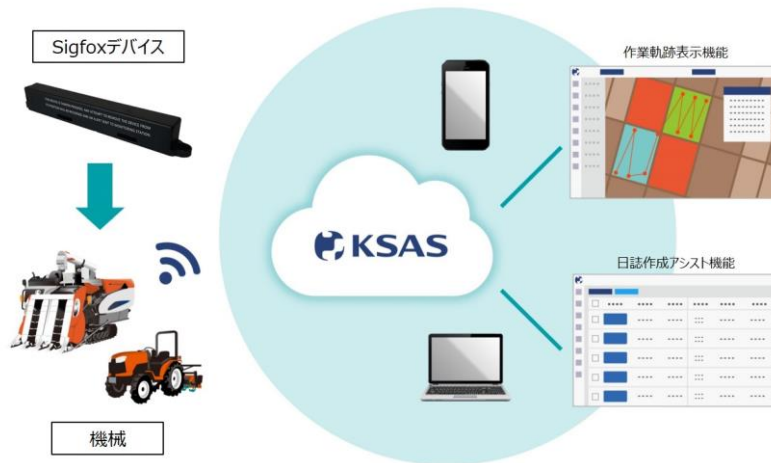
（2）クボタのクラウド環境との接続容易性

Sigfox ネットワークサービスには、データを蓄積するためのクラウド環境が含まれており、データ連携（データ転送/API）も標準で実装されているため、クボタのクラウド環境（KSAS）と容易に連携ができたこと

（3）低コスト

他の通信方式より、長期間運用した際のサービス提供にかかるライフサイクルコストが安価で、クボタが実現したいサービスのコンセプトと合致していたこと

導入後、生産者が元々所有していた農機に Sigfox デバイスを後付けし、位置情報を自動取得することで、KSAS 対応機と非対応機を一元管理できるようになりました。クボタは、Sigfox を活用した本サービスを「KSAS シンプルコネクト」として、2024 年 3 月から提供しています。



KSAS シンプルコネクト概要図

KCCS は今後も Sigfox の提供を通じて、クボタのスマート農業推進を支援するとともに、IoT でさまざまな課題を解決すべく Sigfox 事業を展開してまいります。

■ KSAS シンプルコネクトについて（株式会社クボタ Web サイト）

URL : <https://agriculture.kubota.co.jp/ksas/function/14.html>

■ Sigfox について

URL : <https://www.kccs.co.jp/sigfox/>

※1 Sigfox は低価格・低消費電力・長距離伝送を特長とするグローバル IoT ネットワークです。日本国内においては、KCCS が唯一の Sigfox オペレータとしてインフラ構築およびネットワークサービスの提供を行っています。

* 製品の仕様・サービスの内容は予告なく変更させていただく場合があります。

* 製品名および会社名はそれぞれ各社の商標または登録商標です。

お問い合わせ先

【お客様からのお問い合わせ】

京セラコミュニケーションシステム株式会社

KCCS カスタマーサポートセンター

URL : <https://www.kccs.co.jp/contact/ja/ict/index.html?category=iot&service=sigfox>

【報道機関からのお問い合わせ】

京セラコミュニケーションシステム株式会社

〒108-8605 東京都港区三田 3-5-19（住友不動産東京三田ガーデンタワー）

広報宣伝部 担当：早川・中藏

TEL : 090-7550-8625（直通）

E-mail : webmaster@kccs.co.jp URL : <https://www.kccs.co.jp/>